

<特集補遺「他動性」>

## トルコ語の他動性 Transitivity in Turkish

奥 真裕

Masahiro Oku

東京外国語大学大学院総合国際学研究所  
Doctoral Course, Graduate School of Global Studies, Tokyo University of Foreign Studies

**要旨:** 本稿は特集補遺「他動性」(『語学研究所論集』第19号, 2014, 東京外国語大学)に寄与する。本稿の目的は20個のアンケート項目に対するトルコ語データを与えることである。

**Abstract:** This report contributes to the special cross-linguistic study on ‘Transitivity’ (*Journal of the Institute of Language Research* 19, 2014, Tokyo University of Foreign Studies). The purpose of this paper is to offer the Turkish data for the question of 20 phrases.

キーワード: 他動性

**Keywords:** transitivity

### 1. はじめに

トルコ語は主にトルコ共和国で話されている言語であり、イスタンブル方言を基礎とした共通語をもつ。チュルク諸語の南西語群(オグズ語群とも呼ばれる)に分類され、アゼルバイジャン語やトルクメン語と近い関係にあるとされる。言語類型論的にはいわゆるアルタイ型であり、SOVの語順をとる言語である。本稿における表記は正書法を採用している。

本稿の作成にあたり、Ayşe Büşra Kayaさん(アンカラ県出身、22歳、女性)のご協力を得た。また、指導教員である菅原睦先生からは多くのご指摘をいただいた。この場を借りて感謝を述べたい。なお、誤りはすべて執筆者の責任である。調査にあたっては、筆者の作例を修正してもらった。以下、大文字は子音の同化や母音調和による交替をしめす。(A=e/a; I=i/ı/ü/u; D=d/t; K=k/ğ)

### 2. データ

#### (1) 【直接影響・変化】

a 彼はそのハエを殺した。

O,            sineğ-i            öl-dür-dü.  
彼            ハエ-ACC            死ぬ-CAUS-PAST

「彼はハエを殺した。」



本稿の著作権は著者が保持し、クリエイティブ・コモンズ 表示 4.0 国際ライセンス(CC-BY)下に提供します。  
<https://creativecommons.org/licenses/by/4.0/deed.ja>

b 彼はその箱を壊した.

O, kutu-yu parçala-dı.  
彼 箱-ACC 壊す-PAST

「彼は箱を壊した。」

c 彼はそのスープを温めた.

O, çorba-yı ısıt-tı.  
彼 スープ-ACC 温める-PAST

「彼はスープを温めた。」

d 彼はそのハエを殺したが、死ななかつた.

O sineğ-i öl-dür-dü ama öl-me-di.  
彼 ハエ-ACC 死ぬ-CAUS-PAST しかし 死ぬ-NEG-PAST

「彼はハエを殺したが死ななかつた。」

調査協力者によると口語では使用可能である.

(2) 【直接影響・無変化】

a 彼はそのボールを蹴った.

(ア) Murat top-a vur-du.  
ムラット ボール-DAT 叩く-PAST

「ムラットがボールを蹴った。」

トルコ語では「ボールを蹴る」は対格目的語を取らないため、以下の例を示す.

(イ) Murat masa-yı tekmele-di.  
ムラット 机-ACC 何度も蹴る-PAST

「ムラットが机を何度も蹴った。」

b 彼女は彼の足を蹴った.

(ア) Ayşe Murat'-ın bacağ-ı-na vur-du.  
アイシェ ムラット-GEN 脚-POSS. 3SG-DAT 蹴る-PAST

「アイシェはムラットの足を蹴った。」

(6a)と同様にトルコ語では「足を蹴る」は対格目的語を取らないため、以下の例を示す.

(イ) Ayşe Murat'-ın bacağ-ı-nı tekmele-di.  
アイシェ ムラット-GEN 脚-POSS.3SG-ACC 何度も蹴る-PAST

「アイシェはムラットの足を何度も蹴った。」

c 彼はその人にぶつかった (故意に) .

Murat                bilerek                o                adam-a    çarp-tı.  
ムラット                わざと                その                人-DAT    ぶつかる -PAST  
「ムラットはわざとその人とぶつかった. 」

d 彼はその人とぶつかった (うっかり) .

(ア) Murat                yanlışlıkla                o                adam-a    çarp-tı.  
ムラット                うっかり                その                人-DAT    ぶつかる -PAST  
「ムラットはうっかりその人とぶつかった. 」

(イ) Murat                o                adam-la                çarp-ış-tı.  
ムラット                その                人-INST                ぶつかる -REC-PAST  
「ムラットはその人とぶつかった (うっかり) . 」

(2d イ)では, 相互形の動詞が用いられているが, 調査協力者によると, (2c)では用いることが出来ず, 意図性のない場合のみに使用できると考えられる. 林(2013: 170)は, 相互形が「ひとりでにそうなる」という事態を表すこともあるとし, ol-「なる」に対する oluş-「成り立つ」等の例を挙げている.

### (3) 【知覚】

a あそこに人が数人見える.

Orada                birkaç                insan    gözüük-üyor.  
あそこに                何人かの                人                見える -PRES  
「あそこに何人かの人が見える」

b 私はその家を見た.

Ben    o    ev-i    gör-dü-m.  
私は    その    家-ACC    見る -PAST-1SG  
「私はその家を見た. 」

c 誰かが叫んだのが聞こえた.

Biri-nin                bağır-dığ-ı-m                duy-du-m (eşit-ti-m).  
誰か-GEN                叫ぶ-PAST.PTCP-POSS.3SG-ACC                聞く -PAST-1SG  
「誰かが叫んだのが聞こえた. 」

d 彼はその音を聞いた.

(ア) O,                ses-i                duy-du.  
彼は                声-ACC                聞く -PAST  
「彼はその声を聞いた. 」

(イ) O,                müzik    dinle-di.  
彼は                音楽                聴く -PAST

「彼は音楽を聴いた。」

トルコ語では、耳を傾けて聞く場合には *dinle-*、聞こえる場合には *duy-*を用いる。

(4) 【(知覚 2A) 発見・獲得・生産など】

a 彼は(なくした)カギを見つけた。

O, kaybet-tiğ-i

anahtar-ı-nı

bul-du.

彼は なくす-PAST.PTCP-POSS.3SG

鍵-POSS.3SG-ACC

見つける-PAST

「彼は(なくした)鍵を見つけた。」

b 彼は椅子を作った。

O, sandalye yap-tı.

彼 椅子 作る-PAST

「彼は椅子を作った。」

(5) 【追及】

a 彼はバスを待っている。

O, otobüs bekl-iyor.

彼は バス 待つ-PRS

「彼はバスを待っている。」

b 私は彼が来るのを待っていた。

Ben onun gel-me-si-ni

bekl-iyor-du-m.

私は 彼の 来る-VN-POSS.3SG-ACC

待つ-PRS-PAST-1SG

「私は彼が来るのを待っていた。」

c 彼は財布を探している。

O, cüzdan ar-ıyor.

彼は 財布 探す-PRS

「彼は財布を探している。」

(6) 【知識 1】

a 彼はいろんなことをよく知っている。

O birçok şey bil-iyor.

彼は たくさんの こと 知る-PRS

「彼はいろんなことを知っている。」

b 私はあの人を知っている。

Ben o adam-ı tan-ıyor-um.

私は あの人-ACC 知っている-PRS-1SG

「私はあの人を知っている。」

c 彼はロシア語ができる。

O Rusça bil-iyor.  
彼 ロシア語 知る-PRS  
「彼はロシア語ができる。」

bil-「知る」は「出来る」の意味で用いられる。また、能力を表す接尾辞-(y)Abil-も副動詞を表す接尾辞-(y)A と bil-から成っている。(13a)及び(13b)を参照。

(7) 【知識2】

a あなたはきのう私が言ったことを覚えていますか？

Dün benim söyle-diğ-im şey-i hatırl-ıyor mu-sunuz?  
昨日 私の 言う-PAST.PTCP-POSS.1SG こと-ACC 覚えている-PRS Q-2PL  
「昨日私が言ったことを覚えていますか。」

b 私は彼の電話番号を忘れてしまった。

Onun telefon numara-sı-nı unut-tu-m.  
彼は 電話 番号-POSS.3SG-ACC 忘れる-PAST-1SG  
「彼は彼の電話番号を忘れた。」

(8) 【感情1】

a 母は子供たちを深く愛していた。

(ア) Anne-si çocuk-lar-ı-nı çok sev-iyor-du.  
母-POSS.3SG 子供-PL-POSS.3SG-ACC とても 愛する-PRS-PAST.COP  
「母は子供たちをとても愛していた。」

(イ) Ali Ayşe'-ye sevdalı-ydı.  
アリ アイシエ-DAT 愛している-PAST.COP  
「アリはアイシエを愛していた。」

「愛する」という表現は(8a)のように動詞を用いて表すことも、(8b)のように形容詞を用いて表すことも可能である。調査協力者によると、sevdalı は親子愛よりも恋愛を表すほうが自然だという。

b 私はバナナが好きだ。

(ア) Muz-u sev-iyor-um.  
バナナ-ACC 好む-PRS-1SG  
「私はバナナが好きだ。」

(イ) Muz benim hoş-um-a gid-iyor.  
バナナ 私の 好み-POSS.1SG-DAT 行く-PRS  
「私はバナナが好きだ。」

c 私はあの人が嫌いだ.

O            adam-dan            nefret        ed-iyor-um.  
あの        人-ABL            嫌悪        する-PRS-1SG

「私はあの人が嫌いだ。」

(9) 【感情 2】

a 私は靴が欲しい.

(ア) Ayakkabı            (satın al-mak)        ist-iyor-um.  
靴            (買う-VN)            求める-PRS-1SG

「私は靴が欲しい。」

(イ) Ayakkabı        al-ası-m                            gel-iyor.  
靴            買う-VN-POSS.1SG            来る-PRS

「私は靴を買いたい。」

b 今, 彼にはお金が要る.

(ウ) Şimdi            ona        para        lazım.  
今            彼に        お金        必要な

「今, 彼にはお金が要る。」

(エ) Şu            an        onun        para-ya            ihtiyac-ı            var.  
この            時        彼の        お金-DAT            必要-POSS.3SG            ある

「今, 彼にはお金が必要だ。」

(10) 【感情 3】

a (私の) 母は (私の) 弟がうそをついたのに怒っている.

Anne-m            kardeş-im-in        yalan        söyle-diğ-i-ne            kız-ıyor.  
母-POSS.1SG        弟-POSS.1SG-GEN 嘘            言う-PAST.PTCP-POSS.3SG-DAT        怒る-PRS

b 彼は犬が怖い.

O            köpek-ler-den        kork-uyor.  
彼は        犬-PL-ABL            恐れる-PRS

(11) 【関係 1】

a 彼は父親に似ている.

O            baba-sı-na                            benz-iyor.  
彼は        父-POSS.3SG-DAT            似ている-PRS

「彼は父親に似ている。」

b 海水は塩分を含んでいる.

Deniz        su-yu                            tuz            içer-iyor.

海 水-POSS.3SG 塩 含む-PRS  
「海水は塩を含んでいる。」

(12) 【関係 2】

a 私の弟は医者だ.

(ア) Kardeş-im doktor(-dur).  
弟-POSS.1SG 医者(-COP)  
「私の弟は医者だ。」

名詞・形容詞述語文における現在のコピュラは必須要素ではないが, -Dir というコピュラ要素が存在する. Göksel-Kerslake(2005: 86)は generalizing modality marker として紹介しており, 名詞・形容詞述語文における使用では推量や断定の意味を表す.

また, 以下の例の様に名詞・形容詞述語文を複文に取り込む際には動詞 ol-「である, になる」が用いられる.

(イ) Kardeş-im-in doktor ol-ma-sı-yla gurur duy-uyor-um.  
弟-POSS.1SG-GEN 医者 である -VN-POSS.3SG-INST 誇りに思う -PRES-1SG  
「私の弟が医者であることを誇りに思う。」

b 私の弟は医者になった.

Kardeş-im doktor ol-du.  
弟-POSS.1SG 医者 なる -PAST  
「私の弟は医者になった。」

(13) 【能力 1】

a 彼は車の運転ができる.

(ア) O araba sür-ebil-iyor.  
彼は車 運転する -POT-PRS  
「彼は車を運転できる。」

(イ) O araba sür-me-yi bil-iyor.  
彼は車 運転する -VN-ACC 知る -PRS  
「彼は車を運転することができる。」

b 彼は泳げる.

(ア) O yüz-ebil-iyor.  
彼は 泳ぐ -POT-PRS  
「彼は泳げる。」

(イ) O yüz-me-yi bil-iyor.  
彼は 泳ぐ -VN-ACC 知る -PRS  
「彼は泳ぐことができる。」

(14) 【能力2】

a 彼は話をするのが上手だ.

(ア) O konuş-ma-da yetenekli.  
彼は 話す-VN-LOC 能力がある  
「彼は話すことにおいて能力が高い。」

(イ) O iyi konuş-uyor.  
彼は上手に 話す-PRS  
「彼は上手に話す。」

b 彼は走るのが苦手だ.

(ア) O koşu-da iyi değil.  
彼は 走り-LOC いい ではない  
「彼は走りにおいて上手ではない。」

(イ) O koş-ma-da iyi değil.  
彼は 走る-VN-LOC いい ではない  
「彼は走ることに於いて上手ではない。」

(ウ) O iyi koş-m-uyor.  
彼は うまく 走る-NEG-PRS  
「彼はうまく走れない。」

(15) 【移動】

a 彼は学校に着いた.

O okul-a var-di.  
彼は 学校-DAT 着く-PAST  
「彼は学校に着いた。」

b 彼は道を渡った／横切った.

O yol-u geç-ti.  
彼は 道-ACC 渡る-PAST  
「彼は道を渡った。」

c 彼はこの道を通った.

O bu yol-dan geç-ti.  
彼は この 道-ABL 通る-PAST  
「彼はこの道を通った。」



(16) 【感覚 1】

a 彼はお腹を空かしている。

(ア) O aç.  
彼は 空腹だ  
「彼はお腹を空かしている。」

(イ) Onun karn-ı aç.  
彼の お腹-POSS.3SG 空腹だ  
「彼のお腹が空いている。」

(ウ) O acık-tı.  
彼は お腹が空く -PAST  
「彼はお腹が空いた。」

b 彼は喉が渴いている。

O susa-dı.  
彼は のどが渴く -PAST  
「彼はのどが渴いた。」

(17) 【感覚 2】

a 私は寒い。

(ア) Üşü-yor-um.  
寒く感じる -PRS-1SG  
「私は寒い。」

(イ) Üşü-dü-m.  
寒く感じる -PAST-1SG  
「私は寒い。」

b 今日は寒い。

Bugün soğuk.  
今日 寒い  
「今日は寒い。」

Bugün がこの文の主語であるのか、副詞であるのかについては判断が難しいところであるが、Bugün hava soğuk. (今日 気候 寒い) 「今日は寒い。」等と言えることから副詞であると判断する。

(18) 【(社会的) 相互行為 1】

a 私は彼を手伝った／助けた。

(ア) Ona yardım et-ti-m.

彼に 手伝い する-PAST-1SG  
「私は彼を手伝った。」

(イ) Onu destekle-di-m  
彼を 支援する-PAST-1SG  
「彼を支援した。」

b 私は彼がそれを運ぶのを手伝った。

Onun taş-ma-sı-na yardım et-ti-m.  
彼の 運ぶ-VN-POSS.3SG-DAT 手伝い する-PAST-1SG  
「私は彼が運ぶのを手伝った。」

(19) 【(社会的) 相互行為 2 (言語行動)】

a 私はその理由を彼に聞いた。

(ア) Ona sebep-i-ni sor-du-m.  
彼に 理由-POSS.3SG-ACC 尋ねる-PAST-1SG  
「私は彼にその理由を尋ねた。」

(イ) Sebeb-i-ni ondan duy-du-m.  
理由-POSS.3SG-ACC 彼から 聞く-PAST-1SG  
「私はその理由を彼から聞いた」

b 私はそのことを彼に話した。

O konu-yu onunla konuş-tu-m.  
その テーマ-ACC 彼と 話す-PAST-1SG  
「そのことについて彼と相談した。」

(20) 【再帰・相互】

a 私は彼と会った。

(ア) Onun-la görüş-tü-m.  
彼の-INST 見る-REC-PAST-1SG  
「私は彼と会った。」

(イ) Onun-la tanı-ş-tı-m.  
彼の-INST 知る-REC-PAST-1SG  
「私は彼と知り合った。」

略号一覧

ABL	奪格	ACC	対格	CAUS	使役
COP	コピュラ	DAT	与格	GEN	属格
INST	具格	LOC	位格	NEG	否定

PAST	過去	PL	複数	POSS	所有接尾辞
POT	可能	PRS	現在	PTCP	形動詞
Q	疑問	REC	相互	SG	単数
VN	動名詞	1	1人称	2	2人称
3	3人称				

#### 参考文献

Göksel, Aslı and Kerslake, Celia (2005) “Turkish. A Comprehensive Grammar”, *London*, pp.86.  
林徹.2013.『トルコ語文法ハンドブック』, pp.170.

執筆者連絡先 : okuma.sahil.o@gmail.com

原稿受理 : 2019年12月24日